

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
経済学部	経済学科	夜・通信	10	36		46	13	
	国際商学科	夜・通信				46	13	
	公共マネジメント学科	夜・通信				46	13	
データサイエンス学部	データサイエンス学科	夜・通信			6	16	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>実務経験のある教員等による授業科目一覧をホームページで公表。 シラバス検索ページ (https://syllabus.shimonoseki-cu.ac.jp/campusweb/top.do) でキーワードに「実務経験」と入力して検索可能。</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ 【理事の分掌】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2024_rijibunsyou-202404.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	前下関市副市長	2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	法人業務の総理
常勤	元下関市総務部長	2023. 4. 1～ 2025. 3. 31	総務、財務、人事、 労務、安全衛生、危機管理に関する業務
非常勤	前公立大学法人下関市立大学理事長	2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	法人業務全般に関すること
非常勤	株式会社山口フィナンシャルグループ執行役員	2024. 4. 1～ 2025. 3. 31	法人業務のうち主に経営に関すること
非常勤	元公立高等学校長	2023. 4. 1～ 2025. 3. 31	法人業務のうち主に教育・研究に関すること
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>【作成基準】 「シラバス記載要項」(別添)によりガイドラインを定め、シラバスを作成している。</p> <p>【作成・公表時期】 前年度 12 月頃から作成し、2 月校了、学内確認後 3 月中旬公表。</p> <p>【記載内容】 授業概要、到達目標、評価の方法と基準、事前・事後学習、事前受講を推奨する科目、教科書、参考書、各回の授業計画。</p> <p>【公表方法】 下関市立大学ホームページ</p>	
授業計画書の公表方法	https://syllabus.shimonoseki-cu.ac.jp/campusweb/top.do

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本学の単位認定にあたっては、各学部各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に基づき、到達目標を授業ごとに設定し、これに照らして学生の到達度を評価している。また、アセスメントポリシーを定めている。

【成績評価方法】

評価については、下関市立大学学則第28条（単位の授与及び成績の評価）及び下関市立大学試験及び成績の評価に関する規程第12条（成績評価）の規定に基づいて行っている。

また、学修成果を厳格かつ適正に評価できるよう、平常点（授業中の発表、報告への取り組み姿勢など）、小テスト（単元又は中間時点での理解度確認）、定期試験又はレポート（成果物）、卒業論文等の評価基準をシラバスに明記し、適切に実施している。さらに、学生が自分の履修科目の成績評価について、採点結果の問合せができる制度（下関市立大学採点結果等問合せ事務手続要綱）を設け、成績評価の透明性を確保している。

【評価基準】

授業科目の成績評価は、下関市立大学学則第28条の「成績の評価は、秀、優、良、可及び不可をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。」との定めに基づき、下関市立大学試験及び成績の評価に関する規程第12条に基準を定めている。あわせて、アセスメントポリシーにおいて、評点・点数・評価基準の対応関係を定めている。

評定	点数 (100点満点)	評価基準		
		到達目標	成績	判定
秀	90点から100点まで	ほぼ完全に達成	極めて優秀	合格
優	80点から89点まで	十分に達成	優秀	
良	70点から79点まで	概ね達成	良好	
可	60点から69点まで	最低限達成	最低限合格可	
不可	59点以下	達成していない	合格不可	不合格

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「下関市立大学におけるG P A制度の取扱いに関する要綱」により客観的な指標（G P A）を設定し、公表している。

履修科目の評価に与えられる Grade Point は以下のとおり。

成績評価	成績評点	Grade Point
秀	90～100点	4
優	80～89点	3
良	70～79点	2
可	60～69点	1
不可	59点以下	0

(1) 学期G P Aの計算式

当該学期の（4×「秀」の単位数+3×「優」の単位数+2×「良」の単位数+1×「可」の単位数）／当該学期の総履修登録単位数

(2) 通算G P Aの計算式

全期間の（4×「秀」の単位数+3×「優」の単位数+2×「良」の単位数+1×「可」の単位数）／全期間の総履修登録単位数

成績分布状況についての結果は全教員にメールで報告し、実態の把握に努める。また、学生へはポータルサイトにて公表する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

【下関市立大学におけるG P A制度の取扱いに関する要綱】

https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/scu_61230.pdf

【G P A (Grade Point Average)】

https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_6#3

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を定め、学生便覧、大学案内、大学ホームページで公表している。

卒業の要件については、本学に4年（編入学した者については2年）以上在学し、所定の授業科目の履修によって124単位以上を修得した者について、教授会の意見を聴いて学長が卒業を認定する（下関市立大学学則第39条）。卒業に必要な単位の内訳については、本学ホームページを参照のこと。

○ディプロマポリシー卒業認定・学位授与の方針

2024年度の入学者

（※2023年度以前の入学者に係る卒業認定・学位授与の方針は、本学ホームページを参照のこと。）

教育研究上の目的

現代の経済・組織・社会の仕組みを理解し、それを自らの業務や立場と関連付けながら考察することで、様々な経済的諸問題についての的確な判断ができる高度職業人を育成することを目的とする。

【経済学部】

(経済学科)

- A. 経済学の代表的なアプローチを理解し、幅広い視野から経済・社会について考察できる能力を身につけている。
- B. 数量的・統計的データやモデルも活用しながら、様々な経済現象について論理的な考察ができる能力を身につけている。
- C. 国境を超える企業や金融などの経済主体の行動や関係について、日本経済との関係も意識しながら考察できる能力を身につけている。
- D. 経済・社会・地域に関連する様々な政策や制度の意図について、それらの歴史的背景とあわせて理解するとともに、長所や短所を考察できる能力を身につけている。

(国際商学科)

- A. 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、様々な職能分野と協力しながら、組織の中で活躍することができる能力を身につけている。
- B. 東アジアをはじめとする他国の経済・文化に対する理解を有し、グローバルな視点から事業や企業の活動を考えることができる能力を身につけている。
- C. 競争関係や顧客のニーズ、社会正義などの外部環境と組織の相互関係の重要性を理解しており、社会の発展と関連付けながら組織の活動を俯瞰できる能力を身につけている。
- D. 組織に関わる資金の流れや経営活動の結果を数値・データ化して分析するとともに、その結果を利害関係者に適切に示すことで、組織運営の改善に貢献できる能力を身につけている。

(公共マネジメント学科)

- A. 多様な人・組織が公共的価値を含む領域に関わることの意義を理解し、自らが置かれた立場のもとで、社会の担い手の一員として活躍することのできる能力を身につけている。
- B. 経済学の代表的なアプローチを理解し、幅広い視野から経済・社会について考察できる能力を身につけている。
- C. 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、様々な職能分野と協力しながら、組織の中で活躍することができる能力を身につけている。
- D. 地域・社会に関する制度・政策・諸問題に関する知識を有し、地域・社会の様々な問題を発見し、現実的な解決策を考察することのできる能力を身につけている。

る。

【データサイエンス学部】

(データサイエンス学科)

- A. 統計や関連する数理科学に関する知識と、それらを活用した分析の経験を通じて、データを収集・整理・分析し、そこから得られる知見を論理的に考察できる能力を身につけている。
- B. 情報の管理や分析、人工知能などのアルゴリズムに関する知識を有し、かつそれらをコンピュータ上で表現する経験を通じて、様々な形式のデータを分析・活用し、適切に扱うことのできる能力を身につけている。
- C. ビジネス又はヘルスケアの分野でデータ分析がどのように行われているかを、各分野固有の知識とあわせて学ぶことで、データが社会に果たしうる役割を理解するとともに、データを扱ううえで必要な倫理観や責任感（モラル）を身につけている。
- D. 様々な人々と協力し適切なコミュニケーションをとることができ、用いた分析手法や結果の統計的解釈をわかりやすく伝達することができる。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	【ディプロマポリシー】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy
	【卒業に必要な単位の内訳】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_6#1

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	下関市立大学
設置者名	公立大学法人下関市立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/zaimushohyo2022.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/zaimushohyo2022.pdf
財産目録	-
事業報告書	https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/jigyohokokusho2022.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/kansahokokusho2022.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2024年度公立大学法人下関市立大学年度計画 対象年度:2024年度)
公表方法: https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2024/04/scu_2024_nendokeikaku.pdf
中長期計画(名称:公立大学法人下関市立大学中期計画(第3期) 対象年度:2019年度から2024年度まで)
公表方法: https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/uploads/2024/04/scu_chukikeikaku-3-3.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/tenkenhyoka_hokokusho_2022.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

認定証
公表方法: https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2022Certificate.pdf

2022 年度受審 大学機関別認証評価 評価報告書

公表方法：

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/wp-content/themes/shimonoseki-ac/pdf/2023EvaluationReport.pdf>

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経済学部、データサイエンス学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_1)
(概要) 【全体】 下関市立大学は、総合的な知識と専門的な学術を教授研究するとともに、地域に根ざし、世界を目指す教育と研究を通じ有為な人材を育成することにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的としています。 【経済学部】 現代の経済・組織・社会の仕組みを理解し、それを自らの業務や立場と関連付けながら考察することで、様々な経済的諸問題についての的確な判断ができる高度職業人を育成することを目的とする。 【経済学科】 経済学の代表的なアプローチを理解し、グローバルから地域社会まで幅広い視野から考察できる能力を身につけることで、様々な経済的諸問題について論理的に考察できる高度職業人を育成する。 【国際商学科】 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、グローバルな視野を含め組織の活動を考察することができ、組織や社会の中でそれらの力を実践することができる高度職業人を育成する。 【公共マネジメント学科】 経済学の代表的なアプローチ、組織運営や商取引に関する知識や技能を身につけており、自らの置かれた立場の下で、公共的価値の担い手として社会に貢献できる高度職業人を育成する。 【データサイエンス学部】 【データサイエンス学科】 多様なデータを設計・分析・活用するために必要な数理統計・情報学・社会科学に関する理論と実務に習熟することにより、社会や組織が抱える課題の解決や新たな価値の創造に貢献しうる高度職業人を育成することを目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy)
2024 年度の入学者（※2023 年度以前の入学者に係る卒業認定・学位授与の方針は、本学ホームページを参照のこと。） (概要) 【教育研究上の目的】 現代の経済・組織・社会の仕組みを理解し、それを自らの業務や立場と関連付けながら考察することで、様々な経済的諸問題についての的確な判断ができる高度職業人を育成することを目的とする。 【経済学部】 【経済学科】 A. 経済学の代表的なアプローチを理解し、幅広い視野から経済・社会について考察で

きる能力を身につけている。

- B. 数量的・統計的データやモデルも活用しながら、様々な経済現象について論理的な考察ができる能力を身につけている。
- C. 国境を超える企業や金融などの経済主体の行動や関係について、日本経済との関係も意識しながら考察できる能力を身につけている。
- D. 経済・社会・地域に関連する様々な政策や制度の意図について、それらの歴史的背景とあわせて理解するとともに、長所や短所を考察できる能力を身につけている。

【国際商学科】

- A. 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、様々な職能分野と協力しながら、組織の中で活躍することができる能力を身につけている。
- B. 東アジアをはじめとする他国の経済・文化に対する理解を有し、グローバルな視点から事業や企業の活動を考えることができる能力を身につけている。
- C. 競争関係や顧客のニーズ、社会正義などの外部環境と組織の相互関係の重要性を理解しており、社会の発展と関連付けながら組織の活動を俯瞰できる能力を身につけている。
- D. 組織に関わる資金の流れや経営活動の結果を数値・データ化して分析するとともに、その結果を利害関係者に適切に示すことで、組織運営の改善に貢献できる能力を身につけている。

【公共マネジメント学科】

- A. 多様な人・組織が公共的価値を含む領域に関わることの意義を理解し、自らが置かれた立場のもとで、社会の担い手の一員として活躍することのできる能力を身につけている。
- B. 経済学の代表的なアプローチを理解し、幅広い視野から経済・社会について考察できる能力を身につけている。
- C. 組織運営や商取引に関する専門的な知識や技能を理解し、様々な職能分野と協力しながら、組織の中で活躍することができる能力を身につけている。
- D. 地域・社会に関する制度・政策・諸問題に関する知識を有し、地域・社会の様々な問題を発見し、現実的な解決策を考察することのできる能力を身につけている。

【データサイエンス学部】

【データサイエンス学科】

- A. 統計や関連する数理科学に関する知識と、それらを活用した分析の経験を通じて、データを収集・整理・分析し、そこから得られる知見を論理的に考察できる能力を身につけている。
- B. 情報の管理や分析、人工知能などのアルゴリズムに関する知識を有し、かつそれらをコンピュータ上で表現する経験を通じて、様々な形式のデータを分析・活用し、適切に扱うことのできる能力を身につけている。
- C. ビジネス又はヘルスケアの分野でデータ分析がどのように行われているかを、各分野固有の知識とあわせて学ぶことで、データが社会に果たしうる役割を理解するとともに、データを扱ううえで必要な倫理観や責任感（モラル）を身につけている。
- D. 様々な人々と協力し適切なコミュニケーションをとることができ、用いた分析手法や結果の統計的解釈をわかりやすく伝達することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy)

2024年度の入学者（※2023年度以前の入学者に係る卒業認定・学位授与の方針は、本学ホームページを参照のこと。）

（概要）

卒業認定・学位授与の方針で示した目標を学生が達成できるよう、各学部各学科では以下の方針に基づき教育課程を体系的に編成・実施する。

【経済学部】

【経済学科】

- A. 専攻基礎を通じて、経済学の主要なアプローチを理解する。
- B. 専攻応用「理論・分析手法」を通じて、経済現象について論理的な考察ができる能力を深める。
- C. 専攻応用「国際・東アジア」を通じて、国境を超える経済主体の行動・関係を考察できる能力を深める。
- D. 専攻応用「制度・政策」「地域」を通じて、経済・社会・地域に関する政策や制度を考察できる能力を深める

【国際商学科】

- A. 専攻基礎・専攻応用全体を通じて、組織運営や商取引に関する様々な専門的な知識や技能を理解する。
- B. 専攻応用「国際・東アジア」を通じて、東アジアをはじめとする他国の経済・文化への理解を深める。
- C. 専攻応用「流通・マーケティング」を通じて、組織と外部環境の総合関係を考察できる能力を深める。
- D. 専攻応用「経営・会計」を通じて、経営活動を数値・データ化して分析する能力を深める。

【公共マネジメント学科】

- A. 専攻基礎・専攻応用全体を通じて、多様な主体が公共的な価値を含む領域に関わることの意義を理解する。
- B. 専攻基礎・専攻応用「経済・財政」を通じて、経済学の主要なアプローチを理解する。
- C. 専攻基礎・専攻応用「経営・会計」を通じて、組織運営や商取引に関する様々な専門的な知識や技能を理解する。
- D. 専攻応用「法・政治・行政」「地域・社会」を通じて、地域・社会に関する制度・政策・諸問題に関する知識を深める。

（経済学部：学修成果の評価の方針）

学修成果は授業計画（シラバス）に沿って評価する。2年次終了の段階で、学修到達度を評価したうえで、専門演習Ⅰの履修の可否を判断する。4年次終了時に、学修到達度を通じて、ディプロマポリシー全体の到達度を総合的に評価する。

【データサイエンス学部】

【データサイエンス学科】

- A. 1～2年次にかけてデータサイエンスに関する数学の基礎知識を修得したうえで、2～3年次に統計的分析手法に関する幅広い知識と技能を身につけるための講義科目・演習科目を修得する。
- B. 1～2年次に情報やプログラミングに関する基礎知識を修得したうえで、2～3年次に人工知能を含むアルゴリズムに関する幅広い知識とデータ分析・活用の技能を身につけるための講義科目・演習科目を修得する。
- C. 2～3年次に、ビジネス又はヘルスケアの分野におけるデータの分析を学ぶ科目を修得する。あわせて、講義やアクティブ・ラーニング型科目を通じて、データを扱う技術者としての倫理観と責任感を身につける。
- D. 1～4年次を通して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、創造的な思考力を身につけるため、演習科目やプロジェクト型学習科目、卒業研究を修得する。

E. 学修成果の評価については、客観性及び厳格性を確保するために、シラバスに記載した各授業科目の到達目標の達成度について、成績評価の方法と基準（定期試験、レポート等）を用いて多面的・総合的に評価する。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/gaiyou/outline_3policy）

2024年度の入学者（※2023年度以前の入学者に係る卒業認定・学位授与の方針は、本学ホームページを参照のこと。）

（概要）

【経済学部】

下関市立大学経済学部では、次のような学生を求めています。

1. 経済・経営に関する知識をもとに企業での活躍を目指す学生
2. 行財政に関する知識をもとに行政やNPOなど公共の場での活躍を目指す学生
3. 高度な外国語能力をもとに国際社会での活躍を目指す学生
4. 情報・数理分野の知識をもとにICT産業やデータ分析分野での活躍を目指す学生
5. 社会や人間に対する深い知識をもとに教育者や研究者として活躍を目指す学生

なお、入学前に習得していることが期待される内容は、以下のとおりです。

1. 経済学を学ぶために必要となる基礎的な知識・技能として、高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の知識
2. 思考力・判断力・表現力等の能力として、日々の社会・経済問題に関心を持ち自ら解決策を考える問題発見・解決能力及び高等学校等のグループ学習・課外活動等で培われるコミュニケーション能力
3. 主体性・多様性・協働性として、目的意識を持って自ら学ぼうとする姿勢、異なる文化や価値観を理解する能力、地域社会での活動を通じて得られる公共の精神

経済学部各学科では、次のような学生を求めています。

【経済学科】

経済学科では、地域社会及び国際社会の多様な問題に関心を持ち、経済的・社会的諸問題に関わる理論・歴史・政策の基盤となる知識・技能や、論理的な読解力・思考力、数量的な分析力を備えた学生を求めています。

【国際商学科】

国際商学科では、現代におけるグローバル・ビジネスと企業経営に興味があり、国際交流に積極的に挑戦しようとする意欲を持ち、基礎的な語学能力や情報処理能力などを備えた学生を求めています。

【公共マネジメント学科】

公共マネジメント学科では、地域社会で積極的に活動する意欲を持ち、地域・社会が抱えている様々な公共的課題に関心があり、それらを学問的に学ぶための論理的思考力を備えた学生を求めています。

【データサイエンス学部】

下関市立大学データサイエンス学部データサイエンス学科では、次のような能力・資質をもった学生を求めています。

【データサイエンス学科】

(A) データサイエンスを学ぶために必要となる基礎的な知識・技能として、高等学校等で学ぶ数学及び外国語の知識

- (B) 思考力・判断力・表現力等の能力として、日々の社会問題に関心を持ち、データを用いた解決策を考える課題発見・解決能力及び演習授業等を通じてチームでよりよい提案を考えられるコミュニケーション能力
- (C) 主体性・多様性・協働性として、自ら目的意識を持って学ぼうとする姿勢、異なる文化や価値観を理解する能力、地域社会での活動を通じて得られる公共の精神

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_2

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
経済学部	—	20人	14人	2人	1人	0人	37人
データサイエンス学部	—	7人	4人	4人	0人	0人	15人
教養教職機構	—	2人	9人	0人	0人	0人	11人
経済学研究科	—	0人	3人	0人	0人	0人	3人
その他	—	4人	4人	2人	1人	2人	13人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		61人					61人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_3					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
教員の教育研究活動について改善と充実を恒常的に図るため、授業アンケートやFD研修などを実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経済学部	370人	433人	117%	1,760人	1,914人	109%	20人	18人
データサイエ ンス学部	80人	88人	110%	80人	88人	110%	0人	0人
合計	450人	521人	116%	1,840人	2,002人	109%	20人	18人
(備考) 在学生は2024年5月1日学生数による。 入学者数、在学生数及び編入学者数は学校基本調査「学校調査票（大学）」の「学部学生内訳票」（様式第8号）の数による。								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経済学部	455人 (100%)	6人 (1.3%)	429人 (94.3%)	20人 (4.4%)
	(%)	(%)	(%)	(%)
合計	455人 (100%)	6人 (1.3%)	429人 (94.3%)	20人 (4.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 神戸大学大学院、広島大学大学院、兵庫教育大学大学院、福岡教育大学大学院、下関市立大学大学院 日本年金機構、(株)山口フィナンシャルグループ、(株)西京銀行、(独)国立病院機構、財務省(国税専門				

官)、三菱電機ビルソリューションズ(株)、国家公務員一般職・各県庁・各市役所など
(備考) 2023年9月卒業者14名含む。

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
経済学部	477人 (100%)	406人 (85.1%)	51人 (10.7%)	20人 (4.2%)	0人 (0%)
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	477人 (100%)	406人 (85.1%)	51人 (10.7%)	20人 (4.2%)	0人 (0%)

(備考) 入学者数：2020年4月入学者（編入生除く）
就業年限期間内卒業者数：2024年3月卒業者（編入生除く）

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>【様式第2号の3より再掲】</p> <p>【作成基準】「シラバス記載要項」（別添）によりガイドラインを定め、シラバスを作成している。</p> <p>【作成・公表時期】前年度12月頃から作成し、2月校了、学内確認後3月中旬公表。</p> <p>【記載内容】授業概要、到達目標、評価の方法と基準、事前・事後学習、事前受講を推奨する科目、教科書、参考書、各回の授業計画。</p> <p>【公表方法】下関市立大学ホームページ</p>

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要) 【様式第2号の3より再掲】</p> <p>本学の単位認定にあたっては、各学部各学科の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）に基づき、到達目標を授業ごとに設定し、これに照らして学生の到達度を評価している。</p> <p>また、アセスメントポリシーを定めている。</p> <p>【成績評価方法】</p> <p>評価については、下関市立大学学則第28条（単位の授与及び成績の評価）及び下関市立大学試験及び成績の評価に関する規程第12条（成績評価）の規定に基づいて行っている。</p> <p>また、学修成果を厳格かつ適正に評価できるよう、平常点（授業中の発表、報告への取り組み姿勢など）、小テスト（単元又は中間時点での理解度確認）、定期試験又はレポート（成果物）、卒業論文等の評価基準をシラバスに明記し、適切に実施している。さらに、学生が自分の履修科目の成績評価について、採点結果の問合せができる制度（下関市立大学採点結果等問合せ事務手続要綱）を設け、成績評価の透明性を確保している。</p> <p>【評価基準】</p> <p>授業科目の成績評価は、下関市立大学学則第28条の「成績の評価は、秀、優、良、</p>
--

可及び不可をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。」との定めに基づき、下関市立大学試験及び成績の評価に関する規程第12条に基準を定めている。あわせて、アセスメントポリシーにおいて、評点・点数・評価基準の対応関係を定めている。

評定	点数 (100点満点)	評価基準		
		到達目標	成績	判定
秀	90点から100点まで	ほぼ完全に達成	極めて優秀	合格
優	80点から89点まで	十分に達成	優秀	
良	70点から79点まで	概ね達成	良好	
可	60点から69点まで	最低限達成	最低限合格可	
不可	59点以下	達成していない	合格不可	不合格

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経済学部	経済学科	124 単位	有・無	22 単位
	国際商学科	124 単位	有・無	22 単位
	公共マネジメント 学科	124 単位	有・無	22 単位
データサイエンス 学部	データサイエンス 学科	124 単位	有・無	22 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：

https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_7#

<https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life/introduction/campusmap>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済学部	経済学科 国際商学科 公共マネジメント学科	535,800 円	141,000 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	282,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
		535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
経済学部 (編入学)	経済学科 国際商学科 公共マネジメント学科	535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
データサイ エンス学部	データサイ エンス学科	535,800 円	141,000 円 (市内に住所を有する者)	円	
		535,800 円	282,000 円 (市外に住所を有する者)	円	
		535,800 円	70,500 円 (市内に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	
		535,800 円	141,000 円 (市外に住所を有する者で 一般選抜試験成績優秀者)	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>修学支援を要する学生に対して、生活指導や履修指導の面談を行うなど、最短在学期間で卒業できるよう支援しています。</p> <p>【学生支援：キャンパスサポート】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2/172-2_9#contents1 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life</p> <p>【オフィスアワーについて】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life/campus_support/kyoumu/officehour</p> <p>【入学金及び授業料等の徴収猶予制度について】 入学金については、猶予の制度を設けていません。 授業料については、猶予の制度を設けており、日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者である入学者及びその他の入学者の授業料負担者を対象としています。猶予の期間は4カ月以内です。条件については、以下の規程を参照ください。 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/life/campus_support/tokutai/hiyou</p>

<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>キャリアセンターでは、学生一人ひとりが自信を持って就職活動にのぞんでいけるよう、様々な進路・就職支援メニューを用意するとともに、学生の「将来何をしたいかわからない」という漠然とした悩みから、応募書類の作成や面接などの就職活動に直結する具体的な相談まで、教職員が親身になって対応します。</p> <p>【キャリアセンター】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/career</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要)</p> <p>健康や生活・学修に関する学生たちの不安を解消するために、相談支援センターを設けています。</p> <p>保健室では、健康の保持増進を図るため、定期健康診断を通じて病気の予防や早期発見に努め、健康相談や傷病の応急処置を行い、より良い生活が送れるよう日々の健康管理を支援しています。</p> <p>相談支援センターでは、個別の相談スペースを確保し、大学における生活や学修、人間関係などの悩みや困りごと全般に、学生相談員による相談支援を行っています。合理的配慮に関する相談や申請、ハラスメントなどの相談にも対応しており、必要に応じて学内外の関係者と連携して学生生活をサポートします。</p> <p>【相談支援センター】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/fuzoku/supportcenter</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：</p> <p>【教育情報の公表（法定事項）】 https://www.shimonoseki-cu.ac.jp/about/publication/172-2</p>
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F135210110061
学校名 (〇〇大学 等)	下関市立大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	公立大学法人下関市立大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		248人	245人	261人
内訳	第Ⅰ区分	150人	141人	
	第Ⅱ区分	60人	67人	
	第Ⅲ区分	38人	37人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				0人
合計 (年間)				261人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	—	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	—	人	人
「警告」の区分に連続して該当	—	人	人
計	—	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	—	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	32人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—	人	人
計	33人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。